

2-8 楽曲の組み立て方

シンセアレンジの流れ

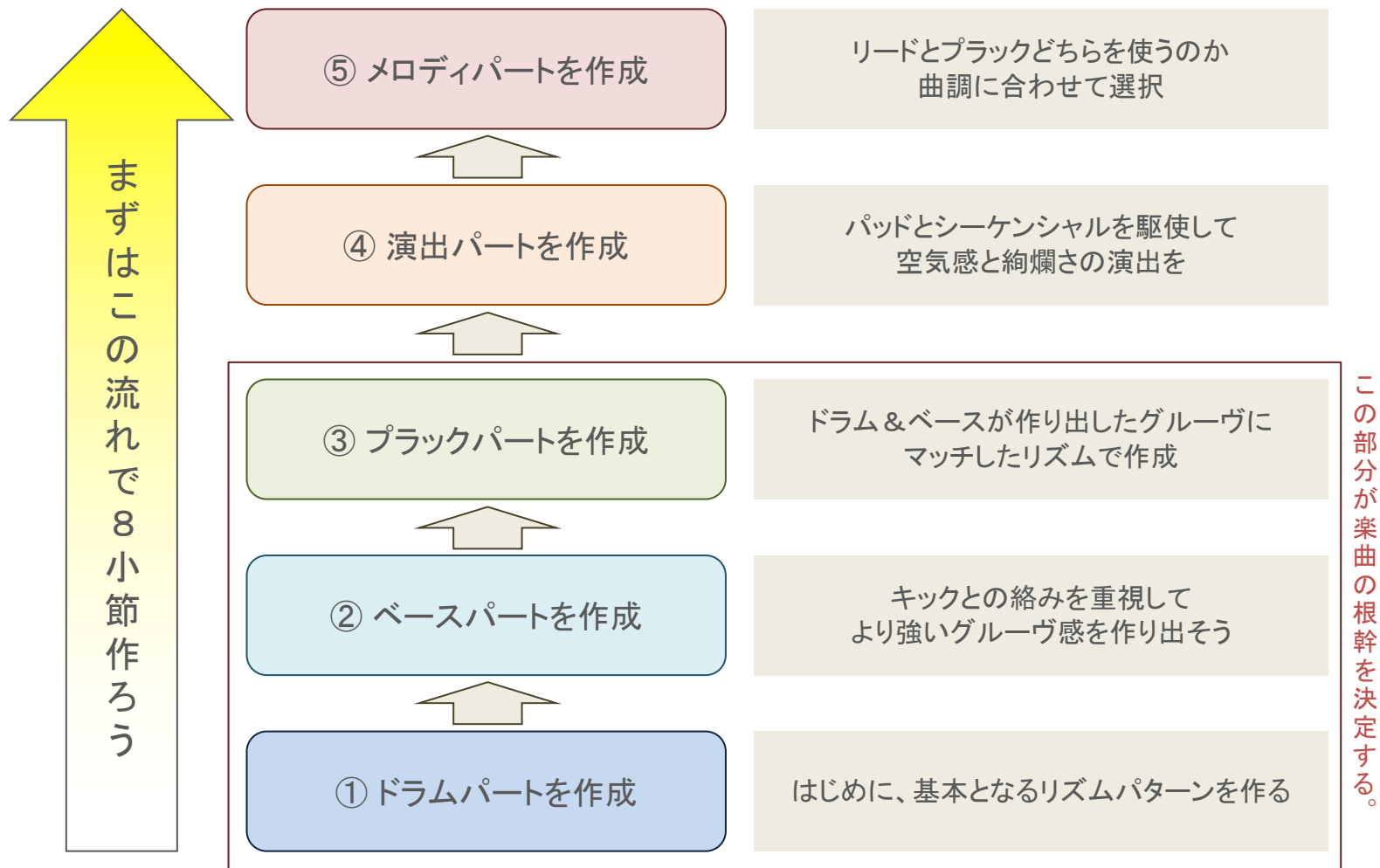
■ ① まずは8小節のパターンを作る

シンセアレンジ、とくにハウスなど4つ打ち音楽は、8小節パターンの繰り返りで構成されていることが多い。したがって、まずは基本となる8小節のパターンを作り、それをループしながら楽曲を展開させていこう。最初に楽曲の根幹部分である、リズム、ベース、プラックの3点で土台をつくり、次にパッドやシーケンシャルなどで演出、最後にメロディを乗せるという流れで作るとよい。

■ ② 全体の構成を決める

前項の8小節のアレンジを元に全体の構成を決めていく。イントロからアウトロにかけてトラックを抜き差ししながら各パートを配置。緩急をつけながら楽曲を構成していこう。

① まずは8小節のパターンを作る



② 全体の構成を決める

セクション	イントロ	A	B	C	D	E	F	G	アウトロ
メロ							ブラック系	ブラック系 アルペジオ 系リード	ブラック系
シーケンス			アルペジオ	アルペジオ パルシング	アルペジオ パルシング	アルペジオ パルシング	アルペジオ パルシング	アルペジオ パルシング	アルペジオ
コード	ブラック パッド	ブラック パッド	ブラック	ブラック パッド	ブラック パッド	ブラック パッド	ブラック パッド	ブラック パッド	ブラック パッド
ベース		ベース		ベース		ベース	ベース	ベース	
リズム	無し又は キックのみ	全部入り	全部入り	全部入り	無し又は キックのみ	全部入り	全部入り	全部入り	

ロングミックスを意識したアレンジ

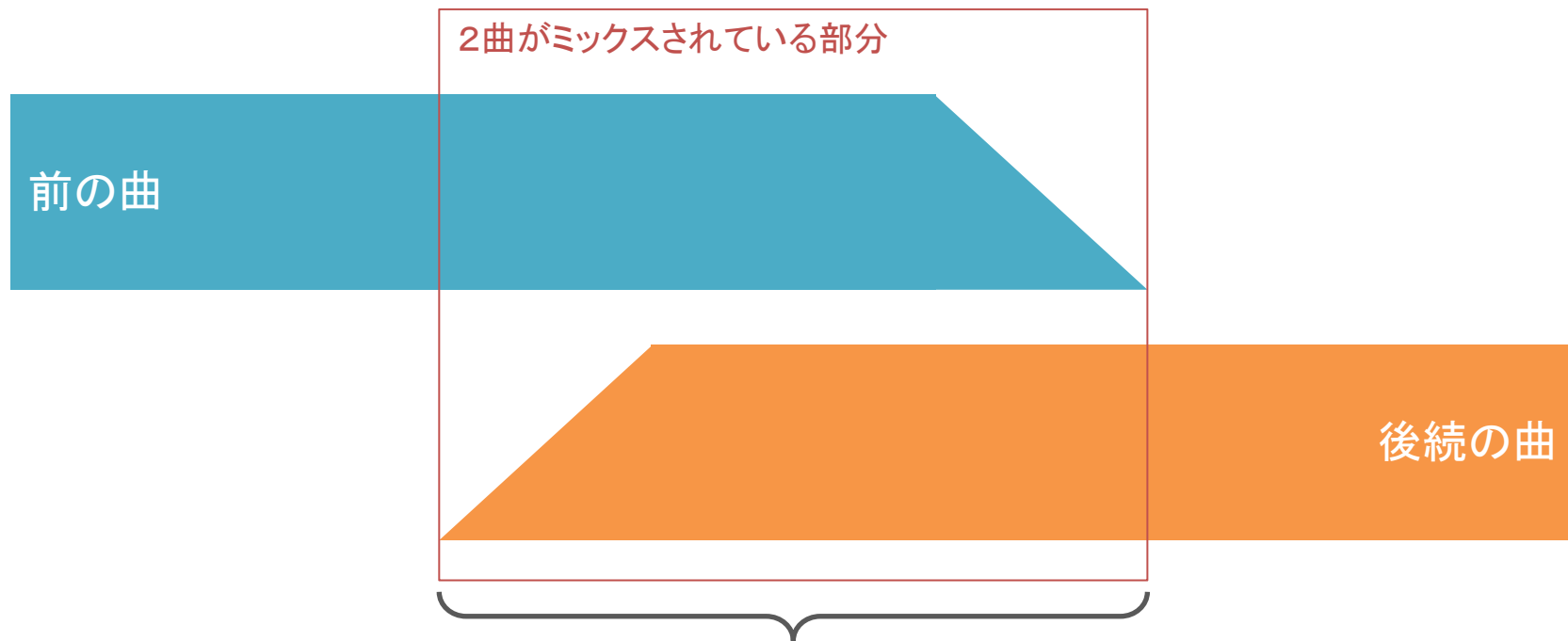
クラブでは、DJがいくつもの曲を切れ目なくつなぎながら再生していく。これを「ミックス」という。（ミックスダウンとは異なる意味なので注意。）

ミックスには様々な手法があるが、中でも、先行する楽曲と後続の楽曲が同時に再生されている時間が長いミックス手法を「ロングミックス」といって、前後の楽曲を滑らかにつなぎたい場合には必須のテクニック。

ロングミックスを実現するためには、後続の曲は長めのイントロを持っている必要があり、イントロが1分以上に及ぶことも珍しくない。

そのため、ロングミックスを想定して、長めのイントロを作っておくとよりクラブらしいアレンジになることを覚えておこう。

ロングミックスを意識したアレンジ構築



数小節～数十小節の間ミックスされるため、長めのイントロを作っておこう

楽曲を盛り上げるテクニック

- ① SE(効果音)の活用
- ② リズムの縮小
- ③ フィルターによる低音コントロール

① SE(効果音)の活用

楽曲の盛り上がりを顕著にすべく、SE素材を利用してメリハリ出そう。以下の2種類が代表的。

■ ライザー系SE

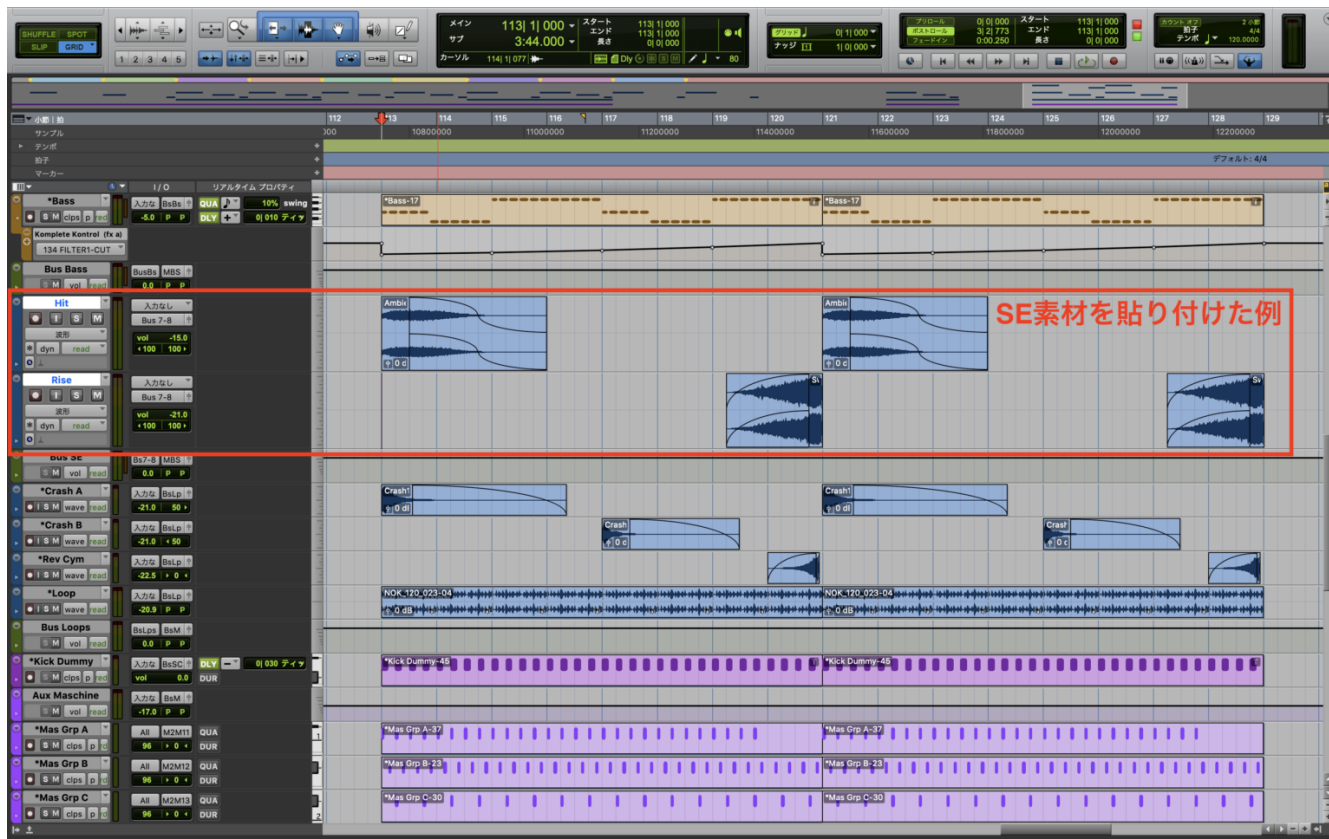
その名の通り、音が上昇するようなサウンドを持つSE。音程の上昇に伴い、楽曲のテンションが上がっていくように聞かせることができる。各セクションが開始する2小節～8小節前から配置し、盛り上がりを演出しよう。

■ ヒット系SE

オケヒット等に代表されるインパクトのあるSE。各セクションの頭に配置することで、そのセクションをド派手に飾ることができる。ライザーで盛り上げた後に使用すると、より強いインパクトを演出できて効果的。

① SE(効果音)の活用

■ SEを組み込んだアレンジ例



② リズムの縮小

8小節でループするアレンジを、4小節単位、2小節単位など徐々に短いスパンでループさせることによって、強い緊張感と盛り上がりを演出するテクニック。

元々は「ビートジャグリング」と呼ばれる、再生中のレコードを任意の場所に巻き戻すことで実現していた高等テクニックだが、近年はCDJなどのデジタルDJ機器の登場や、DAWによる波形編集を用いて簡単に実現可能となった。

8小節→4小節→2小節→1小節→2拍→1拍といった具合に、徐々に半分の長さになるようエディットすることで簡単に組み込むことができる。

② リズムの縮小

■ リズムの縮小を使ったアレンジ例

The screenshot displays a DAW interface with multiple tracks. A red rectangular box highlights a specific section of the arrangement, containing tracks for Pluck, Pad, Seq Pulse, Seq Arp, Bass, and Kick Dummy. A text overlay in red Japanese characters reads "縮小するリズムを組み込み テンションアップ" (Incorporate rhythms to be compressed to increase tension). The interface shows various parameters like volume, panning, and effects for each track. The top of the screen displays transport controls and tempo information.

リズムの縮小と楽曲のテンション



→ 徐々に短くしていく

楽曲のテンション

③ フィルターによる低音コントロール

4つ打ち系音楽において、内蔵を揺さぶるようなパワフルな低音はフロアの盛り上がり左右する重要な要素。その低音を敢えてカットすることで、聴衆に健全なフラストレーションを与えることができる。

低音をカットすることで、リスナーは低音を強く欲する状況となり、再び低音が復活した際に大きな盛り上がりへとつながっていく。

本来は、DJが現場でリアルタイムに行うものだが、アレンジの一環としてDAW上で仕込んでおくことも可能。

③ フィルターによる低音コントロール

■ フィルターによる低音コントロール例

